



2017 年 (平成 29 年) 7 月 15 日

第 69 号

発行



一般社団法人  
尼崎市手をつなぐ育成会

尼崎市西難波町 2-3-10

TEL (06) 6419-3897

FAX (06) 6419-3899

E-mail : ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp

http://www.ikuseikai-ama.com/

## 伝えよう、様々な想い



一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会  
会長 井上 三枝子

尼崎市では3月に障害者差別解消支援地域協議会が発足しました。この協議会では、障害のある人たちが差別を受けた実態を調べることはもとより障害のことを知らない、分からない、つまり無理解そのものが差別を生むことだということで、それぞれの障害のことを積極的に知ってもらうことを活動に取り入れることを確認しました。

昨年7月、神奈川県相模原市で入所施設の利用者19名が殺害され20名が負傷し、その犯人は元職員という痛ましい事件についてまだ記憶に新しいと思います。犯人である元職員は「障害者は何も分かっていない」また「障害者はいなくなればいい」といい殺害に及んだようですが、職員として日々支援する中で本人たちのことを全く理解できていなかったということに大変な衝撃を受けました。先ほどの協議会に参画している当事者団体や関係機関それぞれの立場や抱えている問題は違いますが、この様な事件が二度と起きない様、同じ想いでこの協議会を進めていくことで一人ひとりに配慮のあるやさしい街に進んでいくのではないかと期待しています。

また、啓発について当会では、知的障害者の疑似体験を通じて障害についての理解を進める「まんまるはーと」を2年前にたちあげ、現在様々な

所でワークショップをさせていただいております。(P5 参照)

その中で知的障害や自閉症について特性などの説明をしていますが、近年、外見からは重い障害と見受けられる人たちが、理解しているのに伝えられない、また問題行動をおこしたくないのに体のコントロールがきかない、困っているのにまたうれしいのに表情に表れない、と障害をもつ本人たちがパソコンや文字盤など様々な手段を使って表出することができるようになってきました。これからはワークの基本である障害についての研鑽を積み、よりよいワークを作り上げ、外見からはわかりづらい本人達の想いを伝えていけるよう更に努力をしていきます。

これからの活動としては、昨年阪神地区保護者研修会でテーマにした災害時に役立つ知識や防災グッズを更に広報することで共有し、また進みゆく高齢化に向けてグループホームや住まいのあり方などを考え、そして子育て中の若い家族には障害を理解し希望のある子育てが出来る様な研修会や懇談会を開催していきたいと思っています。

(2017年5月26日決算総会挨拶抜粋)





# 就任のご挨拶

あこや学園 園長 小田 和史

はじめまして。この春にあこや学園に着任しました小田と申します。よろしくお願いいたします。あこや学園に来てまず素晴らしいと感じたことは保護者のみなさんが元気であることです。そして「親の会」という組織があり、しっかりとあこや学園と協力関係があることです。そして、その親の会は「手をつなぐ育成会」としっかりと手をつないでいることです。このようにお互いに助け合い、支え合うという素晴らしい関係が子育てには大切なのではないのでしょうか。

先日も井上会長をはじめ3名の方に来園して頂き、新入園児の保護者を対象に育成会についてご説明をいただきました。保護者の皆さんは緊張の様子でしたが井上会長の柔らかな表情や楽しい話題で次第にリラックスしていきました。この時に感じたのは育成会という組織が井上会長をはじめ

とした「ほんわかで人情味のある温かい組織」なんだろなあ、ということです。コップに水を注ぐという実験も会場が笑いに包まれてとても和やかな雰囲気でした。その説明会の最後に井上会長が「今でこそ、ここにおられる保護者の皆さんの先輩としてお話をしていますが子育てで真っ最中はそんな余裕もありませんでした。不安の中での子育てでした。きっと皆さんも不安の中で子育てをされている方もあると思いますが、子育ては一人ではなく私たちも一緒に子育てをしていきましょう」と締めくくられていました。まさにその通りだと思います。

これからも育成会や地域の方々との関わりを大切にしながら子育てを頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



## あこや学園紹介

### デイリープログラム 月・水・木・金 曜日の保育

8:20~10:00	車内指導（安全乗降、健康観察）
10:00~10:30	登園、持ち物整理
10:30~11:45	朝の会、クラス保育（設定保育）
11:45~12:45	給食準備、給食、歯みがき
12:45~13:30	自由遊び
13:30~14:00	片付け、帰りの会、降園

(火曜日保育の日は少し違った1日の流れになります。)



施設外観



教室内は明るく、絵本や音楽、おもちゃなど様々な遊びができ、子どもたちの発達を促します。



広々としたグラウンドに様々な遊具があり、子どもたちがのびのびと遊べます。



2台のバスで安全にご自宅近くまで送り迎えします。

保健・福祉業務の集約・再編

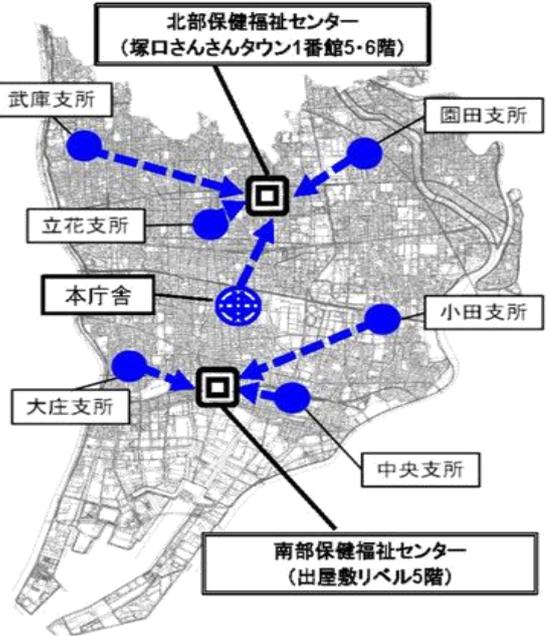
来年 1 月より 6 支所の機能が 2 ケ所に集約されます。どのような機能を持つのかをご紹介します。

# 尼崎市保健福祉センターを2カ所新設します

保健・福祉に関する市民ニーズが多様化・複雑化し、個別の窓口だけでは対応できないケースが増えています。また、支所の老朽化や面積不足により、安全・安心な乳幼児健診などの実施に課題を抱えています。

そのため、尼崎市では、平成30年1月に、新たに保健福祉センターを市内2カ所（塚口さんさんタウン1番館5・6階と出屋敷リベル5階）に設置し、各支所や本庁舎で行っている保健・福祉業務を同センターに集約・再編します。

- 保健福祉センターを市内南北2カ所に設置
- 福祉事務所を同センター2カ所に移転
- 障害福祉部門の一部を同センター2カ所に移転
- 地域保健・地域福祉担当を集約



## 集約・再編のポイント

### 1 保健・福祉総合相談支援体制の構築

現在、各支所と本庁舎に別々に配置している保健・福祉に係る職員を保健福祉センターに一体的に配置し、十分に連携する中、総合的に支援できる体制を構築します。

### 2 安全・安心な健診等施設環境の整備

乳幼児健診などの事業について、十分なスペースと必要な設備を整えて、良好な施設環境と機能面の充実を図り、健診等の環境を改善します。

### 3 身近な地域の申請窓口の維持・向上

高齢者や障害者等の負担を考えて、これまで各支所で取り扱っていた保健・福祉に係る申請受付業務について、一定の手続きが引き続き各支所でするようにします。

また、これまで本庁1カ所で相談・受付等を行ってきた福祉事務所や障害者自立支援事業担当の業務をより身近な2カ所のセンターに移します。

## ～総合相談支援体制イメージ～



## ～施設環境の整備イメージ～



【保健と福祉一体となった相談・窓口】



【付添家族待機用プレイルーム】



【プライバシーに配慮した診察室】

# 平成28年度 阪神地区手をつなぐ育成会 保護者研修会



阪神地区では毎年担当市を決め保護者研修会を行っています。  
28年度は尼崎市が担当で防災について下記の研修会を行いました。

▶日時 平成28年10月20日 10時20分～15時

▶場所 あましんアルカイックホール・オクト

基調講演 「防災力を高めるには」～知恵と工夫で手をつなごう～

関西大学社会安全学部 准教授 近藤誠司氏

地震や津波被害は沿岸部だけではなくみんなで考えないと力になりません。

東日本大震災で宮城県大槻町では亡くなった過半数が高齢者。宮城県では「こすばる」＝「いやがる、あきらめる」という方言があります。最初からあきらめているわけではなく、他人を思いやっていることでもあります。また「津波てんでんこ」という一人ひとりが勝手に逃げるといふ言い伝えもありますが、人情として「こすばる」老人をほっておくわけにはいきません。それには、具体的な訓練をすることで災害時にあきらめない気持ちが生まれることやみんなで協力しながら知恵を絞り課題を見つけ取り組むことが大事だということ改めて感じました。

また、講師は熊本地震の後被害に遭った育成会会員に2回聞き取りを行った結果、マニュアルが役に立たなかったということが分かりました。原因として①中身が抽象的すぎる②個人にマッチした物がなかったことを挙げています。また、物資も十分ではありませんでしたが、兵庫県の育成会から水とお菓子の支援物資が届き大変助かったとの声を聞きうれしく思いました。そして、近い将来南海トラフ巨大地震に襲われるであろうことを想定し、具体的な訓練を行い一人ひとりが備蓄品の確認をしなければならないと改めて思いました。

午後からは兵庫県、尼崎市、川西市から防災についてそれぞれの取り組みを報告しディスカッションを行いました。

<兵庫県> 兵庫県企画県民部災害対策局災害対策

副課長 中道一義氏

- ・ハザードマップ、兵庫防災ネットの発信について説明がありました。また、避難準備⇒避難勧告⇒避難指示が発令されますが、避難準備で避難をする事を勧められました。

<尼崎市> 尼崎市危機管理安全局企画管理課 係長 貝賀浩司氏

- ① 災害を知ろう 内水と氾濫などの用語説明
- ② 日ごろから備えよう

☆家族会議で確認(自助)

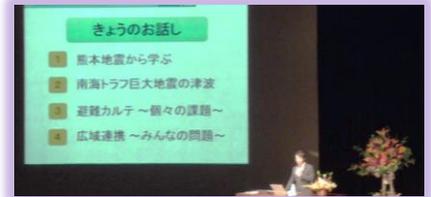
連絡方法、非常持ち出し品、家の中や周辺の対策、防災マップで避難の必要性、避難場所まで歩いてみるなど

- ③ 自主防災訓練(共助) 地域と顔の見える関係づくり

<川西市> 川西市健康福祉部福祉政策課 足立正樹氏

- ・川西市における避難行動支援登録対象者数、登録状況、避難支援関係者の報告がありました。

また、実際に行っている安否確認のリスト登録用紙を見ながら具体的な手続きについての説明がありました。



### 兵庫県知的障害者職業体験事業

## \*キッザニア甲子園に行ってきました\*

10月1日(土)に兵庫県知的障害者職業体験事業で中学生までの子ども達(と保護者)をキッザニア甲子園に招待していただきました！キッザニア甲子園は日本に2か所しかない、職業体験ができる室内型のアミューズメントパークです。とても人気のある施設ですので、普段は大変混雑して子どもを連れて行くのがためられる場所なのですが、この日ばかりはのびのびとそれぞれのペースで楽しむことができました。人気のパピリオン(職業体験)にも待たずに参加することができ、ぜいたくな時間でした。サポートスタッフやボランティアの方々には何かと気配りをいただき感謝の気持ちでいっぱいです。また今年も楽しみにしています！本当にありがとうございました。



消防士になって  
消火活動体験！



ビルの点検のため  
外壁をのぼります



## 知的障害疑似体験グループ「まんまるはーと」

まんまるはーとの活動も二年目に入りました。チラシを見て電話しましたという依頼もあり、少しずつ認知されているのを感じた一年でした。ワークショップの参加者は地域活動に携わる方々から大学生のグループまで年齢も所属も幅広く規模も様々でしたが、その都度メンバーで知恵を出し合いやり方を試行錯誤してきました。終了後に書いていただくアンケートには「理解が深まった」という感想が多く見られてうれしく思っています。まだまだ緊張することも多いですが、これからも親ならではの視点で子ども達のことを伝えられるよう経験を重ねたいと思います。今年もがんばります♪

7/19	武庫地区民生委員	8/24	関西国際大学
9/30	清流園家族会	10/18	小田地域振興協議会
10/22	オトナテラコヤ	10/24	立花小学校PTA
2/7	あまっこフォーラム	2/17	県育成会疑似体験研修会



## 成年期親子バスツアー

4月16日(日)に親子・ヘルパー総勢45名で、猪名川町にある「仲しい茸園」に行ってきました。椎茸の収穫はもちろんの事、初めて原木に生えている所を見る子どもも多く観察しながらも、あっという間にカゴいっぱい収穫。その後、パスカル三田に移動して、三田牛の焼き肉をわいわいと楽しみながら堪能しました。昼食の後は、地元でとれた新鮮な野菜やお肉・魚などを見て買い物をし、帰路につきました。お天気にも恵まれ新緑の景色を満喫しながら楽しい思い出を作る事ができました。



大きな椎茸を狙って...



\*待ちに待った焼肉に舌鼓\*  
とってもおいしかったです

# 学齡期研修会

## 梶井克典先生講演会

### 「みんなの学校」に近づく第一歩って？」

11月7日(金)

昨年、一昨年と大阪市立大空小学校(みんなの学校)を見学して学んだことを基に、尼崎ではどのような取り組みの可能性があるのかを探ろうと、本年度は梶井克典先生の講演会を行いなした。梶井先生は小学校の支援学級を受け持たれた時に、尼崎市では珍しいインクルーシブ教育を実践された先生です。その時の様子を写真やエピソードを交えてお話しいただき、支援学級の子も共に通常学級で学ぶことで、子ども達自身が考える力を身につけ成長することができるということを教えていただきました。

また小さな頃から一緒に過ごす経験が、将来、共に暮らす社会を作る土台になるというお話が印象深く残りました。

その後、2017年1月23日(月)に梶井先生引率の元、市全体でインクルーシブ教育を進めている芦屋市の宮川小学校を見学しました。支援学級は「教室があるだけでめったに使わない」とのこと。完全に交じり合い、その上で適切なサポートを受けられる体制に感動しました。尼崎市はまだまだインクルーシブ教育とは言えませんが、親が現状を知って先生や学校に働きかけることで一歩でも「みんなの学校」に近づけばいいなと考えます。

## 北側恵子さんを囲んでミニワークショップ

### 「発達障害の子ども達に伝わりやすい表現を学ぼう」

2月10日(金)・13日(月)

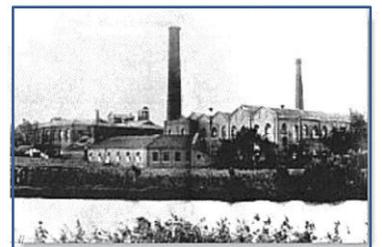
発達障害の子ども達がわかりやすい「肯定的・具体的」な表現とは?日常の場面を想定しながら、より伝わりやすい声掛けの方法を学びました。途中から参加者の悩み事相談会のような雰囲気になり、普段の自分を省みたり、心配事には北側さんからアドバイスをいただいたりとアットホームな会になりました。「はやくしなさい」(抽象的)、「〇〇しないと〇〇できないよ」(二重否定)はつい言ってしまいますが子どもにわかりにくい言葉とのこと。

使っているなあと、私も普段の自分を深く反省しました。でも子どもと同じように『どうすればいいか』がわかれば親も変わっていきけるはず。学んだことを思い出しつつ、毎日の生活で一つでも伝わりやすい声掛けを増やそうと心がけるようになりました。



## 尼崎再発見(第5弾)

### ユニチカ記念館・文化財収蔵庫見学



明治31年頃の尼崎紡績本社工場

尼崎再発見も今年で5年目を迎えました。今回は、11月9日(水)NHK朝ドラの「あさが来た」で話題になった「ユニチカ記念館」と「尼崎市立文化財収蔵庫」の見学に行きました。ユニチカ記念館では、紡績の歴史に関するものや東京オリンピックで活躍したバレーボール女子のユニフォームや写真などが展示してありました。文化財収蔵庫には、尼崎市内で発掘された縄文・弥生時代の土器や道具、尼崎城のジオラマなどが展示されていました。ここは、映画「オールウェイズ三丁目の夕日」の撮影にも使われたそうです。どちらも歴史を感じるものが多く展示されて興味深く見学できました。尼崎100周年の年、尼崎再発見の楽しさを感じた一日でした。



ユニチカ記念館の前で集合!



尼崎城のジオラマを見学中!



# 平成 28 年度初めての試み



## 福成会・育成会合同作品展

昨年 8 月 21 日～27 日までピッコロシアターで福成会と育成会の合同作品展を行いました。今回が初めてのことであり搬入・展示と開始時間までにセッティングが出来るのかとハラハラドキドキでしたが、なんとか間に合いホッとしました。期間中は、一般の方や各事業所の人達、また思いがけず昔お世話になった先生など約 250 名の方が見学に来てくださいました。暑い中本当にありがとうございました。

今年は **8 月 13 日から 19 日(14 日休館)** まで行いますのでぜひお越しください。お待ちしております！



最高正解者にプレゼントされた携帯ホイッスル



## 出張地区懇談会

毎年 2 回、3 つの地区に分かれて地区懇談会を行っています。今年度は阪神地区保護者研修会を尼崎市が担当し防災をテーマに取り組んだこともあり(P4 参照)、防災意識をさらに高めてもらおうと防災クイズ 15 問を持参し事業所 5 ケ所、あこや学園、地活センターかがやきに出向き、全体会も開催しました。参加者は延べ約 240 名でどの事業所でも大いに盛り上がりつつ改めて災害時にとるべき行動を確認する事が出来ました。ちなみに、下記にクイズを 2 問掲載していますのでお試しあれ…(正解は 8 ページ下段)

### 防災クイズ



- 第1問** あなたが家にいる時に大地震が起きた場合、最初にとる行動で正しいのは？  
 A：ドアや窓を開ける    B：ガスの元栓を締める    C：机の下に隠れる
- 第2問** 町の中で突然地震が起きた時、正しい行動は？  
 A：塀や建物に身体を寄せて、揺れが収まるまで待つ  
 B：建物の中にいる時は、とにかく外に出る  
 C：街路樹の陰やベンチの下、丈夫そうな建物の中に入る

## 平成 28 年度 要望書

平成 28 年度の尼崎市への要望書です

1. 尼崎市内に地域生活支援拠点整備型施設の建設
  - \* 高齢化、医療ケアに対応し、ショートステイや相談支援を併設した施設
1. 幼児期から成人期にわたる生涯サポート体制の確立
  - ・ 相談支援事業の充実
  - ・ 尼崎養護学校移転時に基幹相談支援センターの設置
1. 知的障害児に対する教育効果が高まるような方策を
  - ・ 特別支援学級にタブレット端末の導入及び生活やコミュニケーションツールとして活用
1. 公共機関に特例子会社のような部署を設置
1. 災害時における知的障害児・者への適切な対応
1. 選挙における知的障害者への合理的配慮
  - ・ 知的障害者に配慮した投票環境の整備
1. 高齢化に特化した施設建設

# おめでとうございます！

厚生労働大臣表彰  
(更生援護功労者)



井上三枝子 様

兵庫県知的障害者福祉大会  
(理事長表彰)



泉 真弓 様

## 平成28年度 賛助会員

高畑 潤様、福満久晃様  
森 康佑様、宮下 悟様  
加藤泰子様、島 祐貴様  
山元拓馬様、大友昭吾様  
田中伸治様、梅本百合子様  
ありがとうございました。

## 本部



上段 井上(恵)、十河、津、泉、山本、鳥居  
下段 井上(三)、田中、山畑、川端、加藤

## 新理事紹介

### 地区・施設・書記



近友、新本、吉岡



上段 今井、今津、上野山、相木、石井  
下段 蘆田、澤田、岩永、横山

## 監事

### 編集後記

昨年は会員の皆様のご協力を頂き、阪神地区保護者研修会を無事終える事ができました。「街の防災力!」という大きなテーマのもと、個々の防災意識が高まった事と思います。

また、「まんまるはーと」の啓発活動が各方面に広がっていることを、頼もしく思える一年でもありました。今年も、ニーズに合った活動を進めていきたいと思っています。

最後になりましたが、お忙しい中原稿をお寄せ下さいました皆様ありがとうございました。